（三日夕刊）

休刊　大祭日第一第三日曜

定價　一部二錢　一ヶ月六十錢　郵税十五錢

廣告料　壹行六十錢　指定廿錢增

發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔

福島縣平町田町十六番地
發行所　磐城新聞社
電話五六四番

思ひ出草（14）

哲村

古いスクラツプブツクから

◇「盆が來たのに踊らぬ奴は木佛金佛アレサ石ほとけね！」人間扱ひされないを困さから皆さんうんと踊りませう

◇唄の文句には聽いてゐて隨分穏まりが惡いのがある踊り見物に親子連れは禁物

◇一夜ねるとて官軍さんとねたら、軍するような子が出來た。

◇平夕飯三春は茶の子。明日の晝飯二本松。

◇戊辰戰爭當時の流行歌笛太鼓に合せるも一興か

◇磐城炭礦の坑夫退職慰勞金支給内規に關する不平問題は會社側は大体鎧袖一觸所謂ちぬらずして勝たんとする形勢にある濱崎、箇奔神主などの精鋭揃ひが今やと遲しと要求して來るのを待つて居るほど爭議慣れをした處感服〲

◇精悍の氣が溢れてゐる阿部新所長の裁斷振りが見ものだ

（昭和二、八、一〇日）

◇桐の葉に埃の溜る暑さかな。實際やりきれなくなつて來た（同八、一一日）

◇人通りの激しい四つ角の路上に蹲まつてゐる一人の若ものがある、襟の字も讀めぬ程古びた印袢纒に枯れ葱の樣な股引をはいて形影凄落のスタイルは何處から見てもまさに北海道の監獄部屋から逃れて來た哀れな勞働者と云つた形ち

◇そこへ通りかゝる一人の男、風采容貌はどうでも良い何かなし異常な義憤に燃えてゐると云つた樣な三十臺の壯漢、この哀れむべき敗殘の男を眺めて慰めるが如く勵ますが如く「オイ若いの、何をそんなに考へ込んでゐるんだ」と來る

◇哀れな男、地の底から呻くが如くそして哀れみを求むるが如く「これこれ深々の事情この品物を買つてそれを旅費に國へ歸り度いんだ一つ見て貰へまいか」

◇この頃から一人立ち二人集まり物見高い場所柄さて庭に周圍に人の山を築く。そうなるとしめたもの高氣の中兵衛夏井の乙右衛門、平蔵の丙背いづれも縞の財布から野菜の賣り上げ若干を割愛しては之を買つて行く

◇白日下の街上大衆をこけに見て新考案の販賣法、いづくんぞ知らん前の兩人は仲間同志の八百屋問答平二丁目の四つ角邊りによく見る圖だ

◇その剃刀で歪さん田吾さん、顔を綺麗？に剃つて頤の青髯から血を吹き出させ洒落メリンスの兵兒帶かなんかの腰の邊りゆるりとまきつけ平の町へ出て來ては盆の十六日を享樂する、愈々罪がなし（同八、一二日）

◇何がさて年に一度の盂蘭盆とて茲暫三日間と云ふもの檀家廻りに寺ての勤めは各寺院とも住職さんから小坊さんに至る迄總動員の大多忙を極めてゐる

◇如何に不景氣だからとて之許りは掛費の無いせうばい、咳一咳して有難い處を一席終ると之より先豫め用意して置いただらしい一封がそうつと恐る〲その座右に差出される

◇「これはこれはムニャ〲」つてな調子でその一封は殆ど豫定の行動として懷中へ納められる

◇それでゐて咽喉が資本の元手いらず萬一條を朗かな蔵をやつて資本の咽喉を痛めたとした處で風邪の時に用ゆる合嗽料でも貰つてからく〲やるかキャラメルでもなめれば其處は日頃洗練されてる咽喉だけに直ちに復舊また以前へかへつて……「びんがかれう」の妙音が出て來る。殊に合喇代りの磐若湯などあるに至つては益々妙であらねばならない

◇而も送り盆の明くる日頃からは大てい小僧さんが藥屋へ飛ばしてヘルプやコロダインなどを買込ませると云つた豪勢振り

◇とりわけ炭礦所在地のお寺さんと來ては同じ新盆でも變災と云ふ大物があるので之はまた大したもの、聽て盆中だけお坊さんになり度い、なんて不了簡者の出て來るのも寧ろ當然の結果かも知れない

◇南無阿彌陀佛（同八、一三日）

―（今月今日）―

△大津皇子叛死す（朱鳥元）△江華島事件生ず（明治九）△獨軍アントワープを砲擊し飛行機三十隻を捕獲す（大正三）△暹羅國ダニー親王御來朝（大正一五）△イリアス、ホウ歿す。英國人後に米國紐育に移住す裁縫機の發明者である、始め貧窮零落の極に陷つたが特許權の保護によつて悲境を脱卻し遂に二百萬弗の所得を穫た（紀元一、八六七）

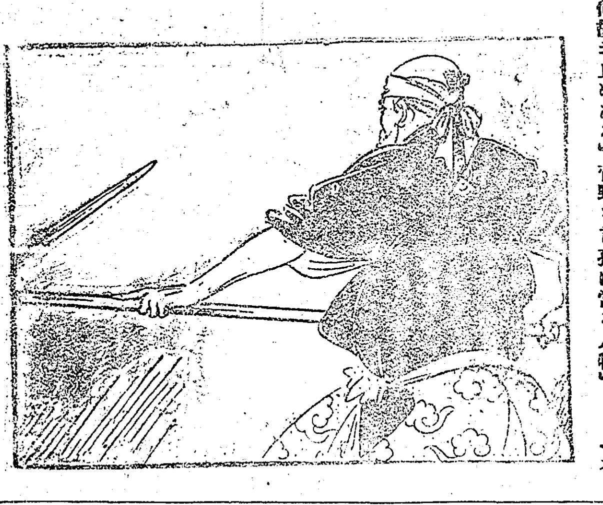
講談

赤鞘安兵衛

東京　桃川燕二嶺
村田月光畫

（六六）

大道寺內藏介は手早く襷鉢卷の出立ちとなり、安兵衛も袴の股立ちを高く取上げます、上州與庭を出て以來全く手に立つ敵に會つたことはない、ドレモ是れもヒヨロ〲武士の相手腕が迂鳴つて居たところだから其勢ひは當るべからず安兵衛は木劍內藏介はけい古槍を探つて左右へ別れます。大道寺先生はけいこはつけて呉れるが他流のものと試合ふことは殆んどない今日の立會は面白いといふのと、一方は諸所の道場でたびけを引つ込んでゐる赤鞘、果して何れだけの腕前があるものか見たいと云ふのが一ッ、立會はぬ先から見好い場所へ陣取つて眼を皿のやうにしてゐる、誰も咳一つするものはなく默りこくつて穏かに控へてゐる、安兵衛に於ては――「ヤ、ッ」と矢聲を掛けると諸共に中段にピタリ着けた、內藏介のけいこ槍は流々と薄の穗の亂るゝが如くしごいてこれも同じく中段につける、內藏介……「成程之れは出來るな、刀法が正しく身構へに寸分の緩みがない、是れぢやあ玄關構へで弟子を集める先生方は皆恐れをなしたに違ひない、何うも大した腕前だ―」と心中少なからず感心をした、安兵衛も又眼と槍の動き工合に眼を止めたか「聞きしに優る大道寺の槍勁、是りやあ間誤〲するとやられるかも知れない」と用愼をします、內藏介は思ひの外だから一生懸命安兵衛もこの先生さへ打込めば江戸表に手に立つものはないからと一生懸命一生懸命と一生懸命の鉢合はせだから容易なものでありません「ねッ」……「ヤッ」內藏介の門人數十人は手に手に汗を握るばかり、互に汗みどろになつて稍暫くは、勝負何れとも決しない、此時道場の引戸の彼方に大喝一聲……「安兵衛無禮であらう控ろッ」と叫ぶものがある、內藏介は逸早く夫れを見て……「あつ菅野氏か何故お止めある」菅野と言はれて安兵衛も振返つて見るとそれは尋ね〲た菅野六郎右衛門當り切つて此方へ進む……「あつこれは菅野のお爺いさま、大道寺先生急用出來、今日の勝負は―」……「あゝ、中山殿は菅野氏の御親族か、イヤ此の急用だけは許せぬとは申されまい」內藏介も槍を引き安兵衛はガラリ木劍を投げ棄てます。其儘道場へ兩手を突いて……「是れは誠にお久方振りでございました、江戸表へ罷出て小一年、に行衛を尋ね廻りましたが、一向に其便りも得ませぬ一方ならず心配罷在りましたところ、御無事のお顔を拜し此上の喜びはありませぬ」と感極まつた涙さい出ます位……「オ、左樣でござつたか、大道寺先生、安兵衛の無禮は我等に免じお許し下されたい、是れは毎度お話し申上げた我等の孫に當る人物」……「オ、成程、其許の孫に中山安兵衛があると聽いた事にござつた、是れがその當人か、いや眞逆に當時評判のある赤鞘がそれだとは思ひもよらなかつた、それにしても立會つて見ると驚き入つた腕前、後世恐るべしとは是れだ」と大道寺內藏介も賞揚して――「全く今日の勝負內藏介負でござつた」と云ふ―「いや却々もちまして手前如きの及びところではありません、恐れ入つてござる」と安兵衛も閉口の体、斯うしたところが武士として實も花のあるのでございます、時に內藏介―「アイヤ御兩所、我等の道場にて祖父と孫が久方振りで對面が出來たと云ふのは何か其處に因緣が有りそにも存する、一獻差上げて御兩所を祝したい、如何でござらう菅野氏」……「手前は只今藤堂公の家敷から出稽古を終つての戻り、差支ないが御厄介をかけては……」と一應辭退します。



拈華微笑

◇縣の體育大會青訓の演習。舊城址附近は戊辰戰爭以來の騷ぎだ

◇蕭條たる秋雨に閉口垂れる事もあるまいがなるべく晴れにし度い

◇乳呑子を抱ねた不惑男。之も寂しい秋の景物

◇國調豫習會問題東京新聞全國版の三段ヌキになる

◇欠食兒童が無い事になつた食はねどひもじうない。の筆法なら大變

◇楓葉荻花秋瑟々夏井の水冷く光る

▽……△

映畫欄

からす組

平館上映

大佛次郎原作

―梗概―

「細谷からすと十六ささげなけりや官軍高枕」と戊辰の戰亂中錦旗を擁しその勝ち誇つてゐる薩長軍をおびやかす落首があつた。これそのぎ、仙臺藩の快傑細谷十太夫の率ゆる衝[illegible]隊は、[illegible]新鋭[illegible]擁護して[illegible]ゐた。

細谷十太夫（阪東妻三郎）箕作流次郎（香路錦作）妻りゑ（森部子）弟數馬、（中村[illegible]二郎）肴屋今助（中村琴之助）世良修造、（志賀靖郎）千田監物、（宇治清）金右衛門（宇[illegible]）尾形駿之助（[illegible]）勇作（中村吉松）お衆（香川[illegible]子）但木土佐（中村[illegible]太郎）

進軍

陸軍省後援　同上

鈴木。田中主演

―梗概―

一臺の飛行機が不時着陸して修膳を終り、輕ろやかに飛翔して行く飛行機を凝視してゐる青年篠原の手には。大和田愼造と云ふ飛行士の名刺が握られてゐた。

村の宏壯な邸宅山本家に令孃敏子が歸省してゐた。

篠原幸一（鈴木傳明）父庄作（藤野秀夫）母たとき（鈴木歌子）山本敏子（田中絹代）父博之（武田春郎）兄史郎（高田稔）小林中尉（小林十九二）將校A（渡邊篤）大和田飛行士（押本映治）串本熊吉（橫尾泥海男）

魔劍籠釣瓶（同上）

―梗概―

其刀一度下界の空氣にふれた時―人の皮を斬り肉血を喰ひ骨を斷つ―此の邪劍を村正と云ふ、いつの世にか村正籠釣瓶をいふ、今茲に魔劍籠釣瓶と呼ぶ。

不良御家人を斃した向坂次郎左工門は、逃走の途山賊に捕へられたが。その頭領の娘に危急を救はれた。しかし、彼の差料村正籠釣瓶の爲餘儀なく山を去らねばならぬ運命に落入つた

花柳情話

『黄昏の悲劇』

悲戀に泣く藝妓を主人公とした東亞の佃血秋原作脚色『黄昏の悲劇』（假題）を久保義郎監督で、住の江田鶴子、土肥了治主演で着手した

『彼が左手の鮮血』に着手

『旋風時代』を完成した帝キネ志波西果監督は次回作品として自作異色ある『彼が左手の鮮血』（假名）を市川玉太郎で撮影開始した

海相更迭

財部海相は今三日闕下に辭表を捧呈後任安保淸種大將親任さる

廣告

平町田町本通り
市原醫院
電話一一四番

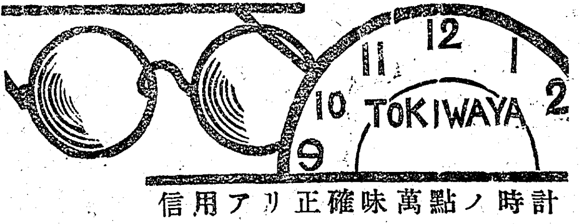
新設電話開通
電話六七八番
暑さも遠ざかり凉しき季節となりました。そして御婚禮の時季となりました。皆樣どーぞ御用命を御願致します。

和洋結髮美顔術
婚禮仕度美爪術
白赤毛染洗髮術

平驛前
水野化粧院
主　水野冬子
大泉キン子

食堂擴張披露
季節向御料理
種々用意御待シマス
よせなべ……五〇錢
貝なべ……三〇錢
松茸どびんむし……三〇錢
茶わんむし……二五錢
外數種
なべ燒
支那そば
おでん
しるこ
一〇錢均一
外數種
其他宴會、出前多少にかゝわらず申受けます
四倉町新須賀町
みなとすしや

專門眼科醫師擔任
無料檢眼
無料檢眼券
御利用下さい
信用アリ正確味萬點ノ時計
御客樣本位ノ眼鏡部
平　壹　常盤屋時計店　電三三九



㊂ホール
節變り献立御知らせ
初秋の丸昌は松茸の料理鮭の料理と芳醇な美酒で！
南町一丁目　本店
四丁目　第一支店
四倉　第二支店
電六二八番

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平五〇七番

內臟外科
外科一般
花柳病科
入院隨意
平町田町赤心堂病院跡
安齋外科醫院
電話四三六番

元祿
げんろく
發賣元
株式會社明友商會

△染色力……確實
△使用法……頗る簡便
△價格……低廉
定價……小瓶二五　中瓶三五　大瓶五〇
平町五丁目角
大販賣店　山野邊藥局

專門
內科一般
內科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五
川井內科診療所
電話七二二番
醫學士　川井重之
女醫　川井安子

毛糸
編物夜間御教へ致シマス
國產優等毛糸　一オンス　十二錢
國產中細毛糸　一オンス　十四錢
國產極細毛糸　一オンス　十五錢
國產霜降毛糸　一オンス　十八錢
一封度（十六オンス）以上ハ御値デ差上マス
編物器具類ナラドンナ品デモハシモトヤデ
御問ヒ合セ致シマス
平町田町
ハシモトヤ糸店

一圓十錢のフランス
マルソー會社元詰
マルソー、ブランク
マルソー、ルージ
生葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二　西村屋藥舖　[illegible]三番

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町五丁目十六番地
須藤まつの

高月台上の金風に跳る 四百餘の縣下代表選手

善戰健闘爭覇の火花を散らす

聯合青年体育大會迫る！

第七回本縣聯合青年團体育大會はいよ〳〵明後五日磐中校庭に開かれるが當日は午前八時各郡市選手四百餘名その他係員整列のもとに嚴かな開會式を擧行川久保團長の開會の挨拶前年の優勝郡伊達郡代表の優勝旗返還に次いで國歌合唱、捧讀小柳知事の告辭、石城郡聯合青年團長の歡迎の辭、富田競技部長の注意、伊達郡選手代表の宣誓あつて閉式午前九時半から競技を開始し午後三時半閉會の豫定であるが順序左の如し

△九時三十分劍道、柔道相撲試合開始、百米豫選(三回)二着迄、砲丸投△十時千五百米豫選(二回)四着迄△十時三十分四百米豫選(三回)二着迄△十一時、八百米リレー第一豫選(四回)二着迄、走幅跳決勝△十一時四十分百米決勝△午後一時八百米第二豫選(二回)二着迄△一時十分走高跳決勝△一時二十分一萬米決勝△二時二十分四百米決勝△二時四十分千五百米決勝△三時八百リレー決勝

秋の山野を撼かす 青訓の攻防演習

尖鋭化の八百名

六日には壯絶な拂曉戰

地方稀有の催しとして多大の期待を以て迎へられてゐる石城郡聯合青年訓練所攻防演習は愈々五六の兩日平町を中心に擧行するが、參加生徒八百餘名若松二十九聯隊から機關銃一小隊も參加應援するが當日は縣聯合青年團体育大會へ出席を兼ね小柳知事、川久保學務部長も參觀すべく先づ北軍の本陣を平町舊城跡とし警戒陣地は尼子橋より月見町南端で南軍攻擊隊は內郷、飯野、神谷の三村より本陣に向つて前進攻擊し北軍との白兵戰は六日午前四時半曉を破つて一大修羅場を演じ同八時半より平第一小學校庭に於いて小柳知事の閱兵及び分列式があり散會の豫定である

懸念される 當日の天候

小名濱測候所の觀測

昨今の石城地方は兎角空模樣が惡く當日の天候を懸念するものゝ多いが小名濱測候所小磯所長は語る

小笠原父島の南方を日本海中部とに二つの低氣壓が現はれて何れも東に移動してゐるため東北地方はその影響で驟雨模樣となつてゐるが三日午後から晴れる見込で四日までは晴天が續くと思ふしかし五日の大會當日はどうやら天氣が下り坂になつて或ひは降るのではないかと觀測される云々

關東北北海聯合 海洋調査協議會

來月中小名濱で

本縣主催の東太平洋沿岸に關する關東北六縣及び北海道聯合の第十五回海洋調査協議會は來る十一月五、六、七の三日間小名濱町縣立水產試驗場に於て開會するので關係道縣の水產試驗場員並に測候所員の外農林省水產局長、海軍省水路部長も臨席の筈である

町急施町會

水道關係協議

平緊急町會は三日午後二時から役場會議室で開催上水道擴張工事用供給購入に關する件歲入出豫算外契約に關する件に付き協議した因に町村に於ける物件購入及び人夫雇ひ入れ等に就いては原則として競爭入札による規定であるが時に急施を要し或ひは之の原則による初期の効果を收め得ざる場合は隨意契約により得る事になつてゐるのでその特例による隨意契約の承認を求めたものであると

缺食兒無し

町當局の觀測

平町各小學校には所謂缺食兒童と見らるゝもの約廿六名居り細密に調査すれば卅餘名には達するのではないかといふ小學校の報告から平善華會ではさきに托鉢米八十五圓廿一錢五厘の處分方を役場へ願出たが當町としても貧困兒童救濟資金が百圓近くある筈で準備全く整ひ各小學校長宛に該當者の內報方を依賴して置いたが今日まで何等の報告もないのみならず仄聞する處に依れば各小學校を通じて該當者が無い模樣であると

十日から一週間 平町の健康宣傳

その手段方法極る

健康週間は十日より一週間全國一勢に施行されるが平町では當日の催しに就き二日午前十時から役場會議室で種々協議を遂げた結果十日十四、十五、十六の四日間午後一時から平署會議室へ各衞生區長各組合員を集め醫師會の手により衞生思想普及健康增進に關する講演を開催し當各病院內に臨時健康相談所を設置し希望者無料で相談に應ずる事外各常設館に於て週間中映畫上映、ポスター貼付チラシ(二千枚)配布各種方面代表者新聞記者等のマーク佩用町內十四軒浴場にははかり身長側尺等により大々的に衞生思想の發達健康增進の宣傳に力むる申し合せをした

感心な兵隊さん

豐間村漁業鈴木金五郎二男明義(二一)は一月朝鮮步兵として入隊中であつたが奉給を貯蓄し二日小學校、青年訓練所。青年團の基本金として五圓宛計十五圓を寄附した

移出米檢査

平勿來で七百俵

平、勿來米穀檢査支所の移出檢查米檢査高は平五百四十八俵勿來百五十六俵計七百四俵でその內譯は玄米五十六俵白米三百十五俵五等米二百六俵等外米四百八十三俵であると

自動車 撤退陳情

驛前關係者から

平湯本間の平自動車營業者が値段の協調と共に申し合せ通り出發時間を實行する事になつた結果平湯本驛前には常十臺內外の自動車が停車してゐる關係上附近の迷惑一方ならずとし平驛前關係者十數名は二日自動車の停車徹退方を平署に陳情した

四倉繭市場

四倉繭市場二日の取引狀況は總貫數一千二百八十九貫七百七十匁代金二千二百十六圓十五錢最高二圓十錢最低一圓四十錢平均一圓六十七錢掛目七累計貫數二萬七千七百六貫百匁であると

ネオンサイン

◇月三更、廓も大引け過ぎ、ひやかし群衆も散つて、大門の電燈徒らに明き大道に、犬にキッスされてる、文字通りの生きた屍があつた、ハテ人間の降るやうな陽氣でもないのに◇處へブウ〳〵と臭い屁をひつて自動車がやつて來た、櫻の木とならけんくわする勇敢な自動車もあるが人間ではアトが厄介と思つたのかストップして此の大きな遺失物を拾得したものだ、屆け出たのは警察かと思つたら、丸い門燈に「△の家」と書いてある「コラ〳〵いくら藝者屋でも拾ひ物をねこバヾにすると犯罪を構成するぞ」ナニッ、ねこ婆を拾つたのだつて」三日前の鎌田町途上所見である

山形の自轉車泥

四倉署に捕はる

當時住所不定無職山形縣鶴岡市魚町生れ菅原直一(三〇)は去月廿五日頃同市某方より自轉車一臺價額(五十圓餘)を窃取去る廿七日久之濱町に來る處を四倉署員に逮捕せられ目下原籍地所轄署に照會中なり

國勢調査豫習書事件は 平町の面目に係る失態

中央當局で調査研究を進む

信用組合平庶民金庫が最近債務者の保證責任を追究する手段として今回行はれた國勢調査の豫習申告書を法廷に持ち出した爲その關係者が一時國勢調査の本申告に躊躇の色を見せた問題は該調査が所謂帝國版圖の現勢を精査して善政の基礎をなすに在る極めて重大なる國家總動員的の事業である丈け其裏面に端なくも醸された事件として其後各方面に意外の波紋を捲き起し今や中央の問題として研究論議さるるに至つたので之れ等の關係者を出した平町の一不祥事たるを失はないと識者間の顰蹙を招いてゐるが右に關し中央當局の意見は次の如くであると

國勢調査が統計上の目的以外に絶對に使用してはならぬ閣令に於て嚴しく規定されて居る事であつて若し右の如き報道が間違ひない事實とすれば折角成功を以て今日まで進んで來つた國勢調査の將來に多大の暗影を投げかけた重大問題であつて福島縣からは無事に調査が濟んだといふ報告が來て居るだけで右の如き事實に關しては何も報告に接して居りませんが、若しそれが事實だとすれば大問題です、かゝる場合國民が申告を拒否する權利があるかどうかと云ふ事は個々の場合に於て見なければ何とも云へない事です、一般的には國民は申告を拒否し又は不正の事實を申告することは禁せられて居り罰則さへあります、又問題の準備申告書ですがこれを調査させるといふのは各府縣が萬全を期する爲め便宜を行つて居る事で規定に依るものではない、併し今日何處でも行つて居ることでありますが之れは直に本人に返すか役所に保管するかして之れを外部に漏らす事のないやうに常に注意してある事は調査員も充分理解して居る筈なのです、若し右報告が全く事實とすれば何にかそこに調査員の手落ちがあつたのでせう併し全く前例の無い事なので信せられない位な氣持がします兎に角充分調査することにしませう

投稿 教員の勤勞

投稿歡迎

いふまでもなく小學校の教員も生命のない機械でなく、また生死を超越した神樣でもなく、やはり一個の人間であり、勞務に對して與へられた報酬によつて生活し、そして現代の文化に呼吸してゐる社會人である

◇

小學校の授業時間數は一定されてゐて各校により甚だしい開きはあり得ない。だが放科後學校に居殘つて翌日の準備、プリント、書類の整理、雜務等に費すべき時間の決定權は規定上校長の獨斷にゆだねられてゐる、こゝに一つの不合理が胚胎する敢て確職づけられた統計に俟つまでもなく事實吾々は彼處で午後二、三時頃になると職員室のカーテンが深く下ろされ、此處では電燈ともる尚ほ教員が背を丸くして仕事をしてゐる光景を目激させられる、それは偶然の事ではなく實に反覆的にそうなのである等量の負擔を課せられてゐる筈の彼等の間にあつて之れは又餘りに甚だしい對照ではないか

◇

經濟的眼眸を以てするならば平均的にいつて勤勞時間に對應した報酬、報酬に對應した勤勞時間が要求さるべきであり、報酬が平均的に一定である故に勤勞時間も自から割出される、また規定上勤勞時間の決定が校長の權限にあるとしても之れは無制限の權限を許したものでなく、社會觀念上期待さるべき限度がある筈である

◇

若し一校の校長としてこの標準を認識し得ないとしたならそれは非常識であるし認識して且この標準によらないとしたならそれは不道德である。斯くいふ事によつて結論は明瞭であらう、校長はその權限を濫用して職員に對して過少勤勞に放任し或ひは過剩勤勞を強制することは罪惡であるといふことだ

◇

尤も緊縮時代であると否とに拘はらず職務に忠實であることは結構に違ひないだが頭腦勞働者たる教員にとつて相當の自由時間は必ずしも時間の浪費ではなく一面修養時間であり他面勞働再生產の時間であることを忘却してはならない

（彼須多、論知生）

乳房まさぐり泣く 子を懷ろに四十男

疲れ果てゝ派出所へ

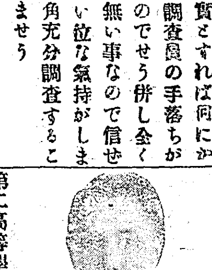
妻の搜索を願ひ出づ

二日午前二時頃平停車場前駐在所へ子供を背負つた勞働者風の男が飛び込んで來たが右は茨城縣那珂郡大字大久保一八九本郷浪吉(三八)で先年來同縣西茨城郡中村青柳の某製材工場に雇はれ中不況風に煽られて工場が破產した爲め八月十日內緣の妻田村郡三春町中齋藤セイ(三五)と長男明(二)を背負ふて本郡下に流れ込んだが時節柄良い働き口が見當らず仙臺方面を漂浪したが飯の種にありつかず再び石城郡下に無一文の旅を續けて二十八日久の濱町某木賃宿で最後の質草たる着衣を脫いで宿泊してからは宿におく物も無くなりこれでは親子三人餓死する外に途が無いからとて相談の末セイは身一つで働く事になり浪吉は子供を連れて郷里大宮に居る弟を訪ね來年の三月三日再び四倉停車場で會合する約束の下に右と左に袂を分ち徒步で小野新町邊まで辿り着いた處母戀しさに乳房まさぐり泣く幼兒のいぢらしさに後髮を引かれ再び舞戾つて四倉に來つたが尋ねる女房が見つからぬので困り果て轉げ込んだものと判明した

仲里文平氏

近く葬儀執行

元辯護士仲里文平氏は先年來病氣の爲湯本町御幸山麓の生家に於て靜養中の處兩三日來病俄に革まり三十日遂に長逝した、行年四十歳氏は磐中(第九回卒業)より第二高等學校を經大正七年七月東京帝大英法科を卒業し同年司法官試補として靜岡地方裁判所吉益檢事正等の指導を受け翌八年四月東京に轉し家事の都合で退職同十二年十月平町に辯護士を開業したが健康がゆるさぬ爲昨春中職を退き徐に再起を期してゐた有爲の器であつた、葬儀は十四日頃同町勝行院に於て佛式により相營むと



情熱の人

言論の雄で

文才も非凡

門傳清吾氏は語る

仲里君とは同君が病氣の爲め司法官試補を辭し小康を得たので平町に辯護士を開業されて以後[illegible]際であるが隨つて閱歷以前の事は詳悉せぬがと前提して交友の一人で有辯護士門傳清吾氏は語る

要するに同君は極めて淡白なそして剛直な人で現代の人の通弊とも觀らるべき虛飾的な生活を避けて居られた然し一方熱情家で對人的關係に於ては非常に同情し溫情慈母の如きものがあつたそれでも何處かに無頓着な性癖が仕事の上に現はるゝ事があるので誤解を受くる樣な事がないでもなかつた樣である之れが同君の欠點とでも云ふべきではなかつたらうか、

次に職業上より見たる同君は帝大法科の卒業者であるから十分な素養があり又非凡なる文才と雄辯の才とを持つ上に熱心であつたから業績優良なるものがあつた故に今後經驗上の智識と相俟つて大いに活躍せられたならば直に民間の法曹として社會國家の爲め貢獻せらるゝ處必ず多大なるものがあつたであらうと思ふ、然るに虛弱なる體質の同君は昨春訴訟用の爲め宮城控訴院に出頭の際卒倒せられてから以來專門醫の熱心なる診療と手厚き令夫人や御兩親の御看護も遂ひに其の効なく長逝せられしは實に哀悼に堪へぬものである（寫眞は仲里文平氏）

早慶野球戰

勝敗豫想投票懸賞

（來六日紙上より發表）

主催 大谷時計病院

後援 磐城新聞社

平新川町十九
木村病院
電話一六四
產婦人科　院長 木村寅次郎
女醫 木村コウ
內臟外科 整形外科　醫學士 松永憲一
藥局　東京藥學士 萩原駿二

黒小倉學生服
今年はウンと安くなりました
型も新らしく裁縫も丈夫に
皆樣にホメて頂ける自信ある
冬服を……澤山揃へました
特製品 小學生用（長ずぼんつき） 2圓00錢より
特製品 中學生用 3圓00錢より
あかや洋服店
平二　電203

蒲鉾製造開始
弊店儀御得意樣各位の御愛顧を蒙り御蔭樣にて日々隆盛の域に相向ひ候處是れ偏に皆樣の御援助の賜と存じ誠に難有奉深謝候
尚ほ本年は時節柄價格低廉に御用相勉め可申上候間舊に倍し何卒御用の程御願申上候
平町一丁目
蒲鉾折詰仕出し
御惣菜用 薩摩揚 吉原揚
藤寅蒲鉾店
電話一四一番

皆樣の昭和タクシーは
此際 御得意樣本位に
貸切料金の値下斷行
何卒御用命を
平驛前 電三四三（サシミ）
澤正路